

2026年(令和8年)2月15日(日曜日)

新 企 画

飴細工師が技披露

大 館 アメッコ市

新神殿がお目見え



飴細工を猫の形に仕上げる吉原会長宅(おおまちハチ公通り)

14日に大館市のおおまちハチ公通りで開催した「大館アメッコ市」では、新企画となる日本伝統飴細工協会(本部・東京都)の飴細工師による美演・販売が行われた。協会から2人が訪れ、来場者の要望に応じて動物などを次々と作り上げ、伝統の技で魅せた。また、秋田職業能力開発短期大学の学生が製作した神殿が会場に設置され、市民や観光客を迎えた。

秋田職能短大の学生が製作した神殿の設置作業



神殿に参拝する人の長い列ができた



普及に努めている。昨年、北海道で開かれた全国菓子大博覧会で市内の菓子職人が会員

と田会い、アメッコ市への初参加が決まった。吉原会長と会員の石井美枝さんが市観光協会のテントで美演。家族連れから飼って、る犬や猫の形のリクエストを受けた。熟して柔らかくしたアメを練って棒の先に付け、「丸い形から作っていきます」などと話しながら、話をしながら、販売を行う。最後に顔などを描き、アメが冷え固まるわずかな時間としてお披露目されたのが、新たなアメッコ市の「顔」

秋田職能短大住居環境科2年生5人が製作した神殿。これまで設置されていた神殿は老朽化し、市観光協会が製作を依頼。昨年度に試作し、2年がかりのプロシエクトして完成にぎった。運搬や設置作業が省力化できると、壁や屋根などが取り外すことができるなど工夫した。午前8時ごろから業者が会場で設置作業を行い、3分割された屋根を取り付けるなどした。参拝する人の長い列ができ、青森市から初めて訪れた男性(51)は「神殿が通りの中央にあるのに驚いた。手作り感があり、雰囲気がある」と写真に収めていた。